

黒メダカの絶滅について

鈴ヶ森 小学校 5年2組 小久保 智拓

黒メダカは今から約数十年前ついに絶滅危惧種の第2位に認定されました。黒メダカがこんな危機に立たされているとは、ほくは初めて知りました。そこで黒メダカがなぜこんな危機に立たされているのかを調べました。

調べた結果

大きく分けて4つの原因があることがわかりました。

1. 工場、家、店ができて住む場所が無くなる。
2. 工場排水のせいで水がきれいなくなり住めなくなってしまう。
3. ホウフウ退治のためにアメリカから移入されたカタヤシがメダカの卵やち魚やメダカを主食として食べてしまう。
4. 小動物、メダカなどが住んでいる水田、田に人間が農薬をまくから水田や田で小動物やメダカが住めなくなってしまう。

この4つの原因のせいで1日に黒メダカは何十何百何千びきと数えきれないくらい死んでしまっています。この4つの原因をじょじょに無くしていかなければ黒メダカの絶滅は時間の問題だといわれています。

この4つの原因の中で1番の問題がカタヤシです。

カタヤシはメダカによく似ていて上から見るとメダカ特有のVマークがないのでカタヤシかどうかはすぐに判断できます。カタヤシは(蚊の幼虫)ホウフウ退治のために、アメリカから移入されました。ですがカタヤシはメダカと同じでゆすり蚊くらいしか食べないので、ヤブ蚊などのホウフウはあまり食べないので、ホウフウ退治のためにアメリカから移入されたのに、ホウフウは食べないので、それだけじゃなくメダカ、メダカの卵やち魚を食べってしまうのです。ホウフウ退治のために移入されたのにメダカ退治に来たようなもんです。今現在も日本はアメリカからカタヤシを移入しつづけているので、カタヤシは増えつづけています。

増えつづけています

メダカとカダヤシの大きなちがいは繁殖のちがいです。メダカは水草がないと繁殖できません。ですがカダヤシは水草が必要ありません。そのまま生むことができるのです。カダヤシはボウフラ退治のために輸入されたのに、メダカを食べます。こんな話がちがうことをなぜ日本の政府は、今現在もカダヤシを輸入しつづけているのでしょうか？

政府はたしかに大変です。ですが黒メダカは絶滅寸前です。知らない政府に腹が立ちます。しかもカダヤシだけを保護、隔離することは不可能といわれています。ことカダヤシともう一つのメダカの天敵は人間です。私たち人間はカダヤシと同じでメダカの天敵なのです。

4つの原因の解けつ法意見

1. 工場、家店ができて住む場所が無くなる。
解 さまざまな小動物、メダカが住める環境を作る。
人間とは別の環境を作る。

2. 工場排水のせいで水がきたなくなり住めなくなってしまう。
解 川の水が海に流れるときにきたない水とメダカに分け、メダカだけを取りのぞき、そのメダカを1.の自然の環境に入れる。

3. アメリカから輸入したカダヤシがメダカの卵やメダカを食べてしまう。
解 このカダヤシは、今現在もカダヤシは輸入され続けられていて、カダヤシの保護、隔離することは、不可能といわれています。あるとすれば、カダヤシの輸入をやめること。まずやめないと何も始まりません。

4. 農薬をまくから水田で生きられなくなる。
解 メダカが農薬の中に近づかないように、せん用のカラスを使い、メダカは1.の自然の環境に住ませる。

まとめ

黒メダカについて調べた結果、黒メダカの絶滅には4つの原因があり、メダカの天敵はカダヤシと、私たち人間だとわかりました。この4つの原因をみんなで協力し、解けつて、未来に黒メダカが絶滅しないように協力して解けつていきたいです。